



第2516回例会（16／17年度第47回）  
平成29年6月23日（金）

■ 点鐘並びに開会宣言 ～鈴木 伸一 会長

■ 斉唱 ～ソングリーダー 野見山 紘一 会員  
Rソング「それでこそロータリー」

■ お客様紹介 ～親睦活動委員会 佐野 和人 委員

- 川原 俊明 様 (川崎鷺沼ロータリークラブ)
- 都倉 八重子様 (川崎中原ロータリークラブ幹事)
- 内藤 松雄 様 (川崎中原ロータリークラブ)
- 井上 隼 様 (川崎とどろきロータリークラブ)
- 持田 雄二 様 (川崎高津南ロータリークラブ会長)
- 島崎 順生 様 (川崎高津南ロータリークラブ幹事)
- 川崎 哲 様 (上松義典会員ゲスト)

■ 会葬の御礼 ～片岡 登美夫 会員

過日の妻の葬儀には大勢の皆様にご会葬いただき有難うございました。さぞかし本人も喜んでいただけたと思います。平成22年4月特発性間質性肺炎という診断を受けました。約7年1か月療養いたしました。永眠いたしました。この病気は難病ということで治らない病気でした。

■ ご挨拶 ～高良 明 ガバナー



本年度も後1週間となりましたが、皆様の多大なるご協力と地区の運営もつつがなく終えようとしております。地区大会、チャリティーマラソン大会、経営大講演会等それなりに成功裡に終えたと思っております。この1年の思いをガバナーマンスリー13号に記しましたのでお読みいただけたらと思います。川崎西RCはあらゆる角度から他クラブから見られております。原理原則はしっかり守りつつ、時代の変化に我々は対処しなくてはならないと思っております。皆様のこの一年のご支援に感謝いたします。

■ 来賓挨拶 ～持田 雄二 様、島崎 順生 様

退任のご挨拶に伺いました。地区大会のコホストクラブとして参加させて頂きました。立派な大会運営だったと思います。今年度同様次年度もよろしくお願い致します。



■ 米山功労者感謝状授与

- 佐保田 實 会員 (9回) 片岡 登美夫会員 (8回)
- 渡部 一博 会員 (6回) 野口 泰郎 会員 (6回)
- 鈴木 伸一 会員 (5回) 木所 章 会員 (3回)
- 木村 俊道 会員 (3回) 稲毛 俊英 会員 (2回)
- 藤田 茂樹 会員 (2回) 田中 宏幸 会員 (1回)

■ 会長報告 ～鈴木 伸一 会長

当月第2第3例会を検査入院のため欠席せざるを得ず、皆様にご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。病名は「間質性肺炎」、「慢性閉塞性肺疾患 (COPD)」のようです。7月6日に定期検査にまいります。残り2週間職務を遂行いたします。宜しく見守り下さい。

①神奈川県血液センター横浜事業所は、横浜市港北区に7月3日（月）より「神奈川県赤十字血液センター」として業務を開始することになりました。

②第2820地区土浦南RCの稲本修一会員よりのお礼の手紙が参りました。稲本修一会員のお孫さんの移植手術が無事終了しました。皆様の友情に感謝しますとのこと。

■ 幹事報告 ～棚部 哲男 幹事 会報裏面をご覧ください

■ 各委員会報告

□ 出席委員会

本日	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2516回	72名	68名	59名	9名	86.8%
前々回修正		メキャップ	4名	12名	82.1%

## ■ 入会卓話 ～都倉 直子 会員

私は、3月24日に入会させていただきました、都倉直子です。プロフィールを紹介します。平成5年1月23日生まれの24歳。町田市にある「玉川学園」で、小学部から高等部までの12年間を過ごしました。高等部3年生の時に、ロータリークラブの青少年交換プログラムでドイツのケルンに1年間、留学をさせていただき、玉川学園を卒業後は「獨協大学外国語学部ドイツ語学科」に入学し、今年の3月に卒業いたしました。大学4年生の時にも、ドイツ・トリーア大学に1年間留学をした経験があり、もう少し、ドイツに関する勉強をしたいと思っていたところ、幸いにも3月に行われた学士入学の試験に合格し「早稲田大学文学部ドイツ文学科」に入学をする事が出来ました。学士入学ですので、3年生への編入です。ロータリークラブへの入会希望をした時は、早稲田大学は記念受験で、合格できるとは夢にも思っていなかったのですが、例会への出席を心配していましたが、幸いにも金曜日には必須の授業が無いので、月曜日から木曜日は大学で勉学に励み、金曜日は川崎西クラブの例会へ。土曜日・日曜日は、(有)フラワータイムの取締役として宮崎台で経営している花屋で修業中です。私は、花屋の4代目です。



私は、母がフラワーデザインの先生やデモンストレーターとして活動しているので、アシスタントとしてサポートをする事が多いのですが、毎年2月に、東京ドームで開催されている



「世界らん展日本大賞」のメインステージで母がフラワーデモンストレーションを行う時のサポートは、1,000人以上のお客様がいらっしゃるの、緊張します。特に、今年度は、結婚式をイメージしたステージを考えた母からの任務が花嫁さんとしてステージに登場することでした。新郎役は鷺沼クラブの米山奨学生の馮(ひょう)さん。川崎中原クラブの職場訪問移動例会でしたので、他クラブや地区の米山奨学委員会の皆様も応援に来て下さり大変盛り上がりました。



私は、2010年—2011年度に2590地区から青少年交換留学生としてドイツに派遣され、大変有意義で貴重な体験をさせていただきました。このプログラムは、ロータリアンの皆様の善意で成り立っている、とても素晴らしいプログラムで、人生において忘れることの出来ない素晴らしい経験をする事が出来ました。私は

ドイツ1810地区、ケルンとボンの、ちょうど間にある、ブリュールという、世界遺産に登録されている素敵な宮殿のある、小さな町に派遣されました。3件のホストファミリーの家に滞在させていただきながら、現地の学校に通って行っていました。私は、放課後に行われるオーケストラ部に参加して行っていました。ドイツでは是非バイオリンを演奏したいと思っていたのですが、持って行く荷物があまりにも多く、日本から持って行くことが出来なかったのですが、幸い、1番目のホストファザーからバイオリンを借りることが出来ました。ドイツの学校は小学校5年生から高校4年生までが同じ校舎で勉強をしますの、小さな子から高校生までいろいろな学年の人が集まっています、いろいろな歳の方と触れ合うことが出来、とても面白かったです。冬と春に2回、学校で行われたコンサートにオーケストラの一員として参加させていただきました。オーケストラに参加するのは、小学生の時以来だったので、再び参加したことで、オーケストラの魅力に惹きこまれたような気がしました。コンサートには、お礼の気持ちを込めて、バイオリンを貸して下さったホストファミリーを招待し、大変喜んでいただきました。



ロータリーの行事では、1810地区のいろいろな場所で行われるROTEX主催のお泊りイベントが数回、インターアクトによるイベントが1回ありました。ドイツ国内を周りつつ、フランス、ベルギー、チェコへ行ったヨーロッパツアー、パリへの1泊2日のツアーなどがありました。陸続きにあるヨーロッパならではの他の国へ気軽に行く、ということができたので、ドイツだけではなく、他の国の文化や歴史も少し学ぶことが出来ました。ドイツのロータリークラブは、日本とは違って、クラブ同士のつながりというもの薄いので、あまり他のクラブの例会へ参加するという機会はありませんでした。唯一参加したのは、日本好きのロータリアンの方がいらっしゃるロータリークラブのみでした。ブリュールの例会には、3回の出席。その他に、移動例会にも数回参加したことがありました。帰国間近の例会では、お礼の卓話とバナー交換をしたのですが、会員の皆様から、ドイツ語が上手になり発音も良くなったね。と褒めていただき大変嬉しかったです。

1年を過ごした帰国の日、空港でホストファミリーと別れる時、不思議と涙は出ませんでした。それは、また、ドイツで再会する事を約束したからです。またドイツに帰ることもあるので、その時にはバナーを交換して来たいと思います。